

2020年7～12月 新聞接触状況レポート Vol.6

J-MONITOR定期面別調査結果より

2021年2月10日
J-MONITOR連絡協議会

J-MONITOR 定期面別調査とは・・・

各紙の購読者モニターパネルに対して、定期的に朝刊・夕刊・別刷り**各面の接触状況**を質問する調査です。

調査日・調査対象面は、プラットフォームを運営するビデオリサーチが独自に設定。参加新聞社に対し、事前に調査日の開示を行わないため、より**客観的なデータ蓄積が期待できるデータ**となっています。

設問方法

◆スクリーニング

- 1.調査対象発行日の朝刊を読んだかどうか（夕刊・別刷りも同様に）
- 2.朝刊を手もとに用意できたかどうか（夕刊・別刷りも同様に）

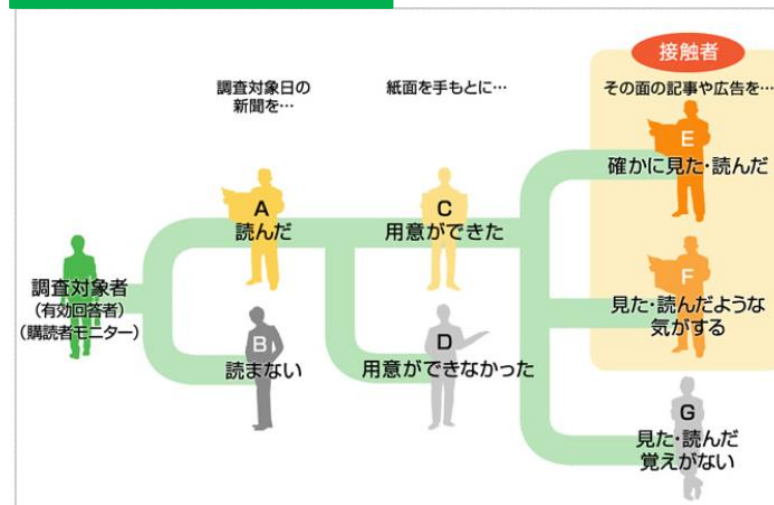
◆本調査（新聞を用意できた人に対して）

Q.「あなたは○面をご覧になりましたか。」（ひとつ回答）

A.

- 1.確かに見た、読んだ
- 2.見た、読んだような気がする
- 3.見た、読んだ覚えがない

面別接触率の設問方法



面別接触率の計算式

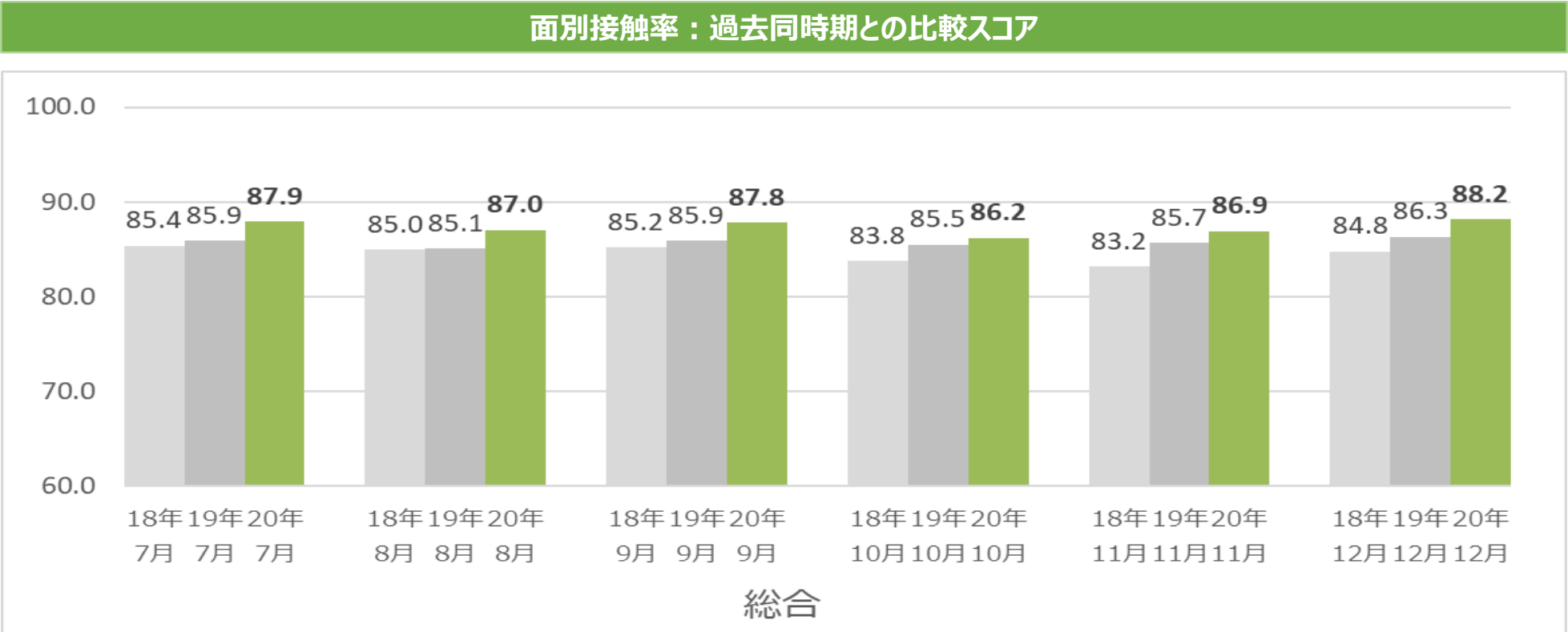
$$\text{面別接触率} = \frac{\text{確かに見た・読んだ} + \text{見た・読んだような気がする}}{\text{調査対象者 (有効回答者) (購読者モニター)}} \times 100 (\%)$$

◆面別接触率比較 ①「総合面」

①「総合面」・・・新型コロナウイルスに関する多角的な分析や、政策などの重要なニュースが多く掲載

「総合面」は、第2波が落ち着いた10月の接触率は86.2%とやや落ち着くものの、第3波が始まる11月から接触率も右肩上がりに上昇し、12月では88.2%と直近6ヵ月の中で最も高い結果となった。2020年12月は、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が約+2ポイント上昇した。

→「勝負の3週間」が過ぎても急速な勢いで感染が広がり続け、北海道では自衛隊が派遣されるほど医療がひっ迫した状態となった。また7月から開始されたGoToトラベルも全国で停止するなど、経済への打撃も見られ、感染拡大による政府の対応、今後の世の中の動向に注目が集まっていると考えられる。



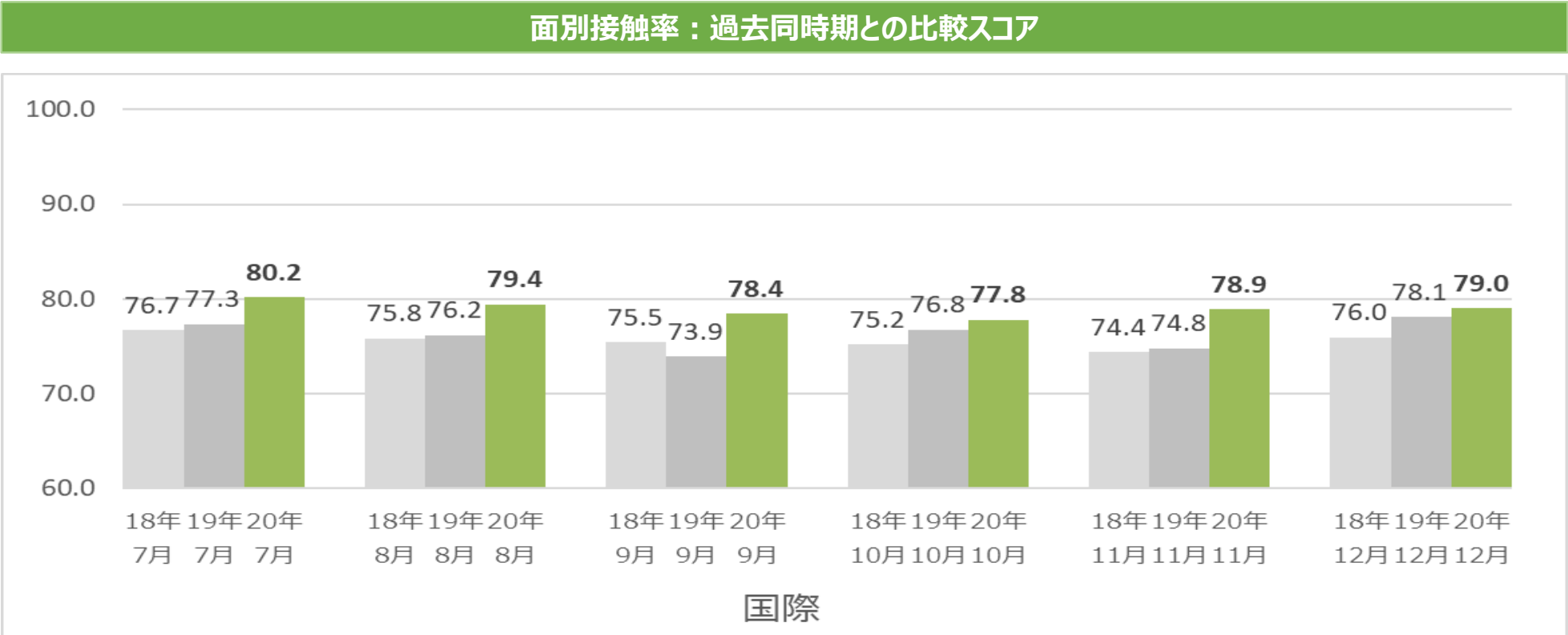
※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 ②「国際面」

②「国際面」・・・新型コロナウイルスに関する世界各地の状況や影響に関する記事が掲載

「国際面」の面別接触率は、8割前後のスコアを維持しており、6ヵ月連続で昨年、一昨年のスコアを上回る結果となった。
2020年12月は、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が約+1ポイント上昇した。

→ヨーロッパでは再び感染拡大が起こり、複数の国がロックダウンを実施する中、変異種のウイルスが発見されるなど緊張感が増している。一方で、世界の製薬会社が新型コロナワクチン開発に着手しており、12月にはイギリスやアメリカにおいて新型コロナワクチンの接種も開始され、その効果といったところも読者には注目されていると考えられる。



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

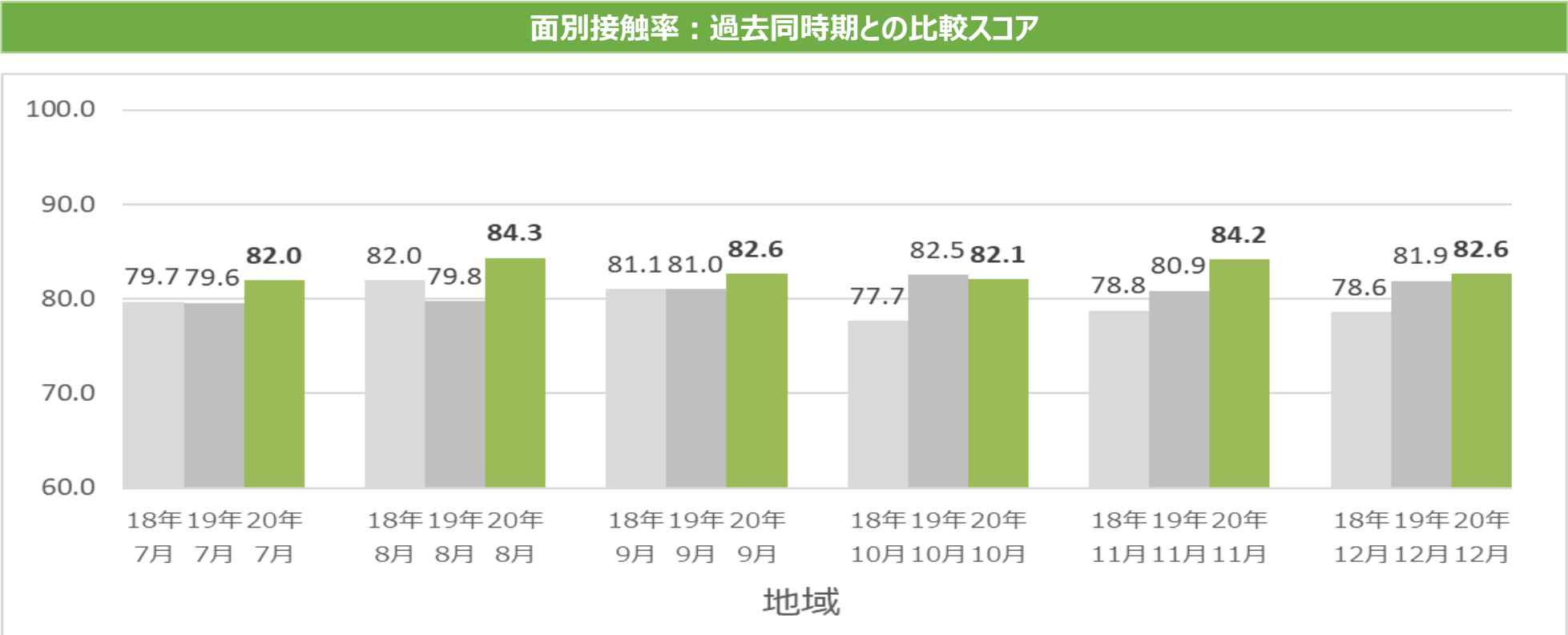
◆面別接触率比較 ③「地域面」

③「地域面」・・・読者にとって身近な地域での新型コロナウイルスに対する取り組みなどを掲載

「地域面」の面別接触率は、6ヵ月連続で8割上回り、10月を除いては、昨年、一昨年のスコアを上回る結果となった。

→7月下旬から東京を除いてGoToトラベルが開始され、8月以降は徐々に感染対策をしながら、地域の催しなども開催され始め、10月からはGotoEatが始まるなど、地域活性につながる動きが各方面で見られた。

12月に入ると感染拡大によって外出自粛要請を出す地域も増え、GoToトラベルや地域のイベントなども相次いで中止となったことが、11月よりも接触率が上回らなかった要因ではないかと考える。



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

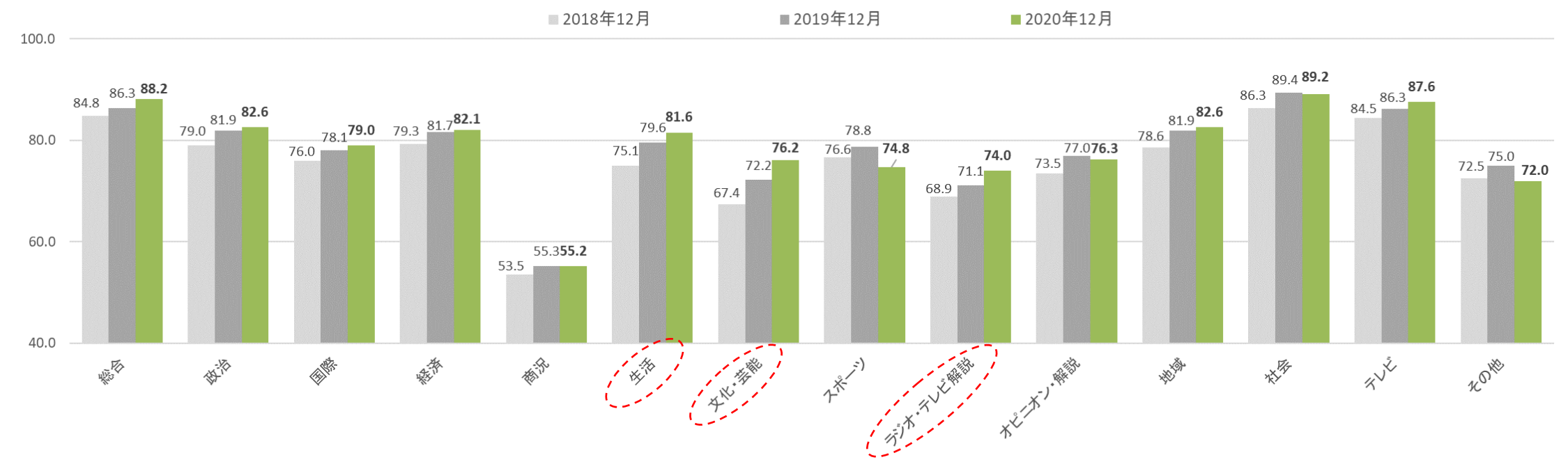
◆面別接触率比較 12月：「全紙平均」

2020年12月 全紙 面別接触率平均

12月の面別接触率は14面種のうち、9面種で直近3年の同時期の中で最も高いスコアを獲得。
その中でも、「文化・芸能面」の面別接触率は昨年よりも+4ポイント、「ラジオ・テレビ解説面」は+3ポイント、「生活面」+2ポイントスコアが伸びた。

→11月からの感染拡大、12月の外出自粛要請で例年よりも自宅で過ごす時間が増えたことにより、年末のイベント開催状況やテレビ・ラジオなどの特番情報への注目が例年よりも高まったと考える。

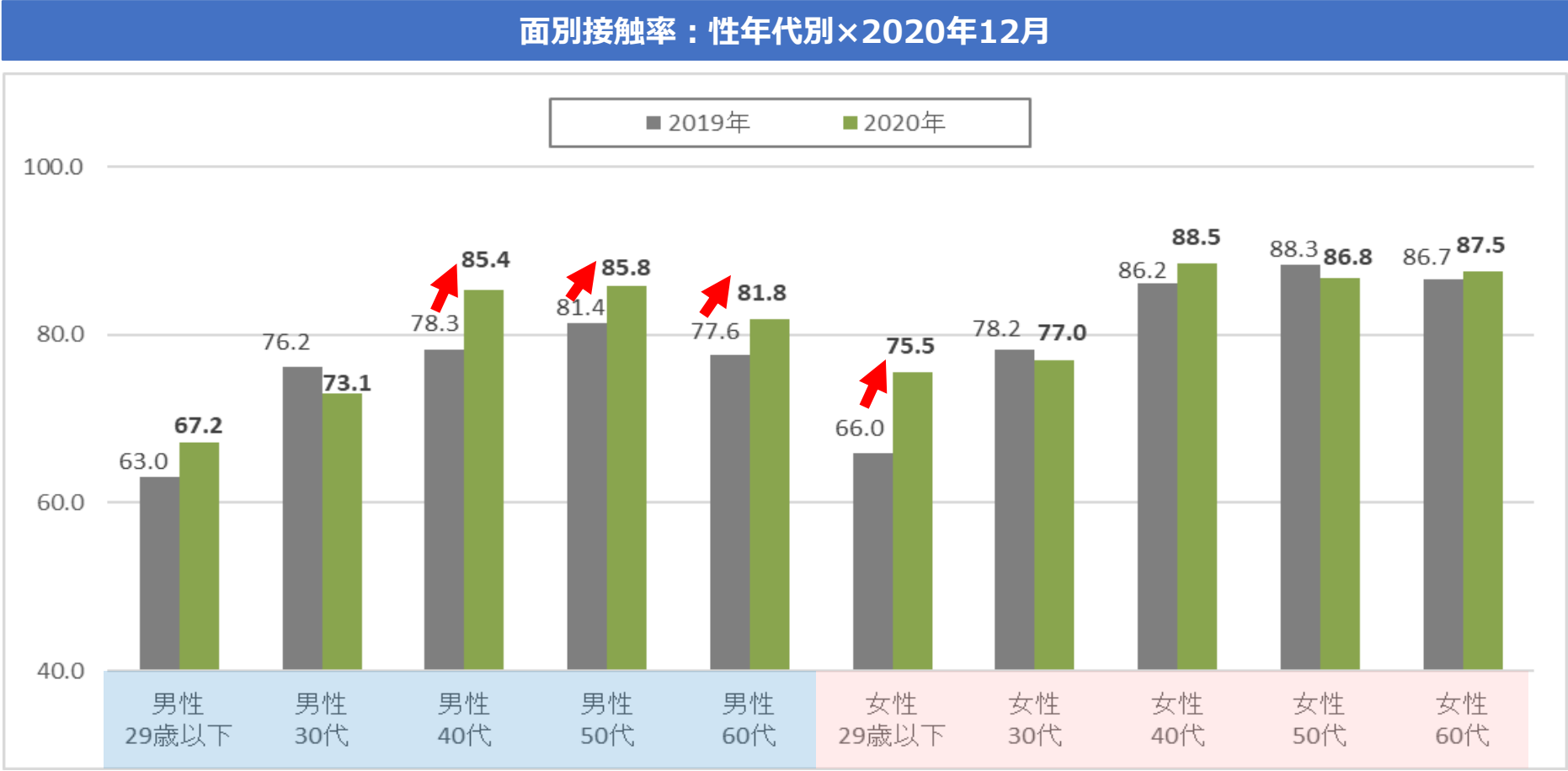
面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

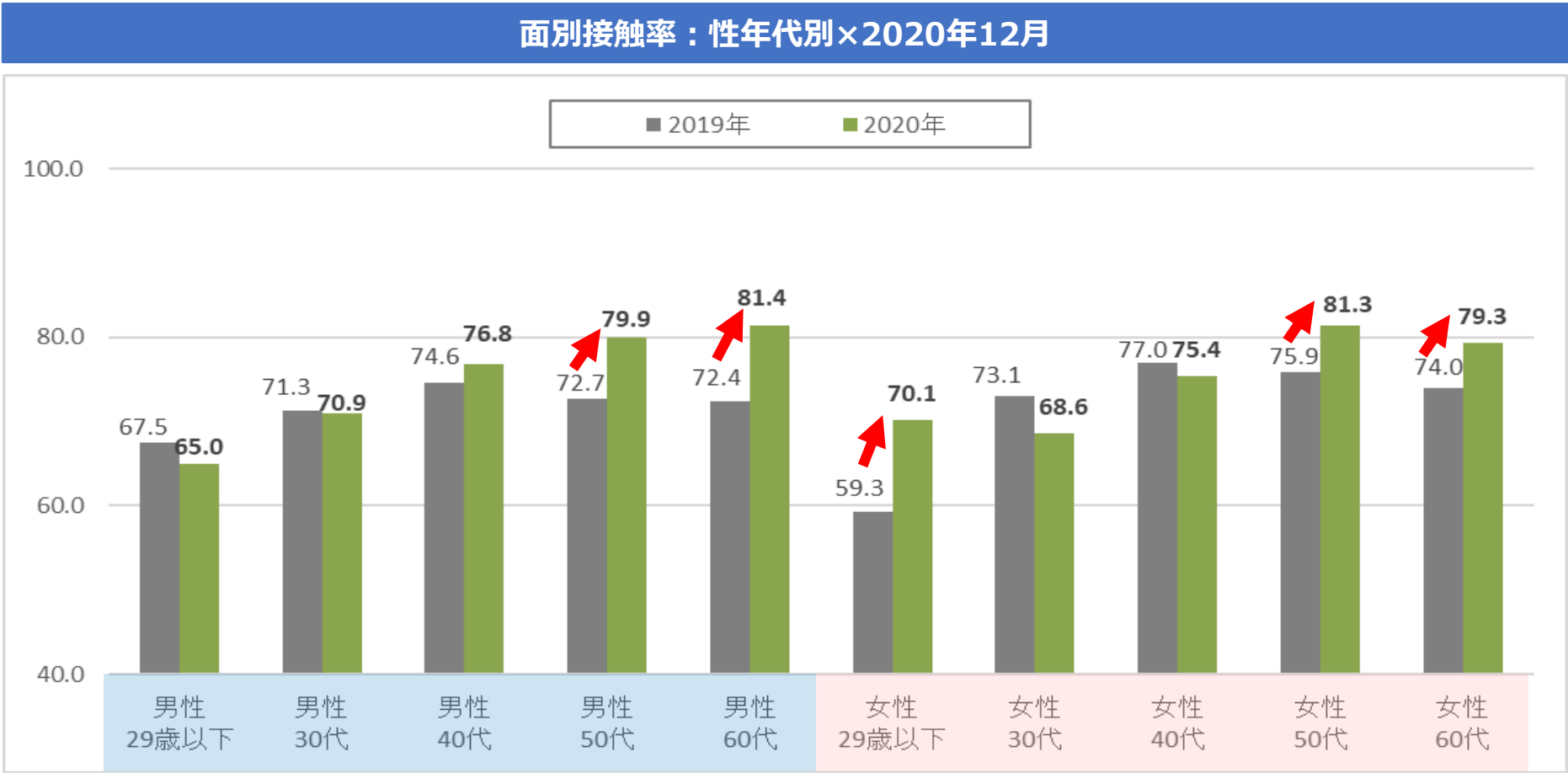
◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「生活面」

①「生活面」・・・新型コロナウイルスの中でも役立つ、衣食住や医療・福祉などに関する情報を掲載
「生活面」の面別接触率を性年代別で見ると、男女ともに40代以上の面別接触率は8割を超える結果となった。
また女性29歳以下では9ポイント、男性40代では7ポイント、男性50～60代では4ポイント、昨年度の同時期のスコアを上回った。
→生活面は男性よりも女性の接触率がこれまで高い傾向にあったが、男性の接触率が大幅に伸びており、引き続き新型コロナウイルスと向き合って生活していくために有益となる情報を得たいと考える読者が増えている。



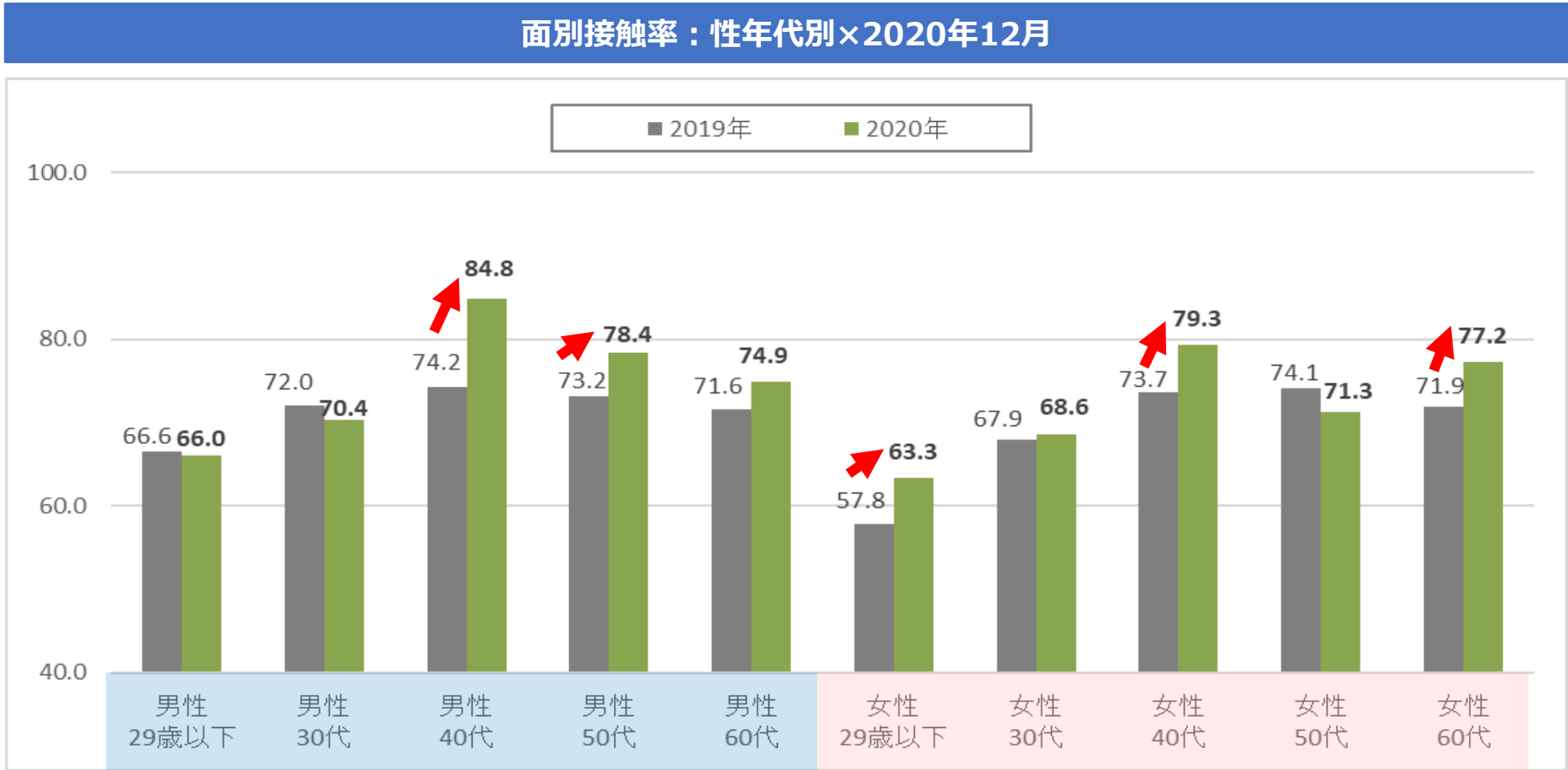
◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「文化・芸能面」

③「文化・芸能面」・・・エンタメ、芸能、映画、音楽などやイベントの開催・延期情報を掲載
「文化・芸能面」の面別接触率を性年代別で見ると、男女共に50～60代は8割と昨年から+5ポイント以上スコアが上昇した。また女性29歳以下では、7割を超え昨年から+10ポイント以上スコアを伸ばしている。
→新型コロナウイルスによって年末年始のコンサートをオンラインライブで開催する情報や、人気漫画においては映画や動画配信など幅広い年齢層に影響を及ぼしており、巣ごもりしながらも楽しめる情報を取得していると考える。



◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「ラジオ・テレビ解説面」

②「ラジオ・テレビ解説面」・・・ラジオ番組や通常の編成に戻りつつあるテレビ番組の情報などを掲載
「ラジオ・テレビ解説面」の面別接触率を性年代別で見ると、男性40代では、昨年に比べ+10ポイント以上高い結果となった。その他の年代では男性50代、女性29歳以下、40代、60代で昨年のスコアを+5ポイント以上上回った。
→例年、12月は忘年会などの外出機会が多くなるが、2020年は第3波による感染拡大の影響もあり、年末もステイホームをしながらテレビやラジオへ接触していると考えられる。



◆面別接触率まとめ（2020年7月～12月）

◆考察

- ①面別接触率の状況は、第3波の感染拡大にあわせて右肩上がりへ。
- ②12月は、全14ある面種のうち、総合、政治、経済、生活、地域、社会、テレビの7面種が8割超え。
- ③国際、文化・芸能、スポーツ、ラジオ・テレビ解説、オピニオン・解説、その他の6面種も7割超え。
- ④男性は政治、商況、スポーツの接触が高く、女性は生活、地域の接触が高い。

⇒7月から各面の面別接触率は大きな変化は見られないが、7月や12月など一部のエリアで外出自粛が出ていた時期については、「文化・芸能」「ラジオ・テレビ解説」のスコアがやや高い傾向にある。

また年末という時期もあり11月から比較すると特にエンタメ系やテレビ周りの情報のスコアが高まる傾向が見られた。

依然として日本国内の新型コロナウイルス感染は収束しておらず、国内外の感染状況や経済施策、国内の感染対策も引き続き注目を集めていると思われる。

面別接触率 一覧 （単位：％）

【全体】							【男性】						【女性】					
朝刊・面名称	2020年						2020年						2020年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	87.9	87.0	87.8	86.2	86.9	88.2	91.0	89.3	90.1	89.1	89.2	90.8	85.1	85.0	85.7	83.5	84.7	85.9
政治	82.8	79.3	81.9	81.7	79.4	82.6	90.0	82.5	82.8	86.9	83.3	88.8	76.0	76.1	81.1	76.4	75.5	76.5
国際	80.2	79.4	78.4	77.8	78.9	79.0	86.7	82.4	82.7	82.8	82.7	83.3	74.3	76.7	74.5	73.1	75.2	75.1
経済	83.9	83.5	83.6	82.4	84.7	82.1	88.1	86.4	86.6	85.9	87.2	87.0	80.0	80.9	80.8	79.1	82.2	77.5
商況	57.1	50.9	54.9	53.2	55.9	55.2	65.8	55.3	61.8	60.6	58.7	64.7	48.7	46.9	48.2	46.6	53.1	46.4
生活	81.0	78.4	78.2	80.4	78.7	81.6	79.0	76.5	76.0	77.5	75.9	79.0	82.8	80.1	80.1	83.3	81.2	84.1
文化・芸能	75.8	72.3	70.7	70.4	72.1	76.2	75.3	71.7	70.8	69.1	71.0	75.8	76.3	72.8	70.7	72.0	73.3	76.4
スポーツ	75.4	75.9	75.3	75.4	76.1	74.8	81.6	81.8	83.0	82.5	82.9	81.1	69.8	70.3	68.0	68.7	69.5	69.1
ラジオ・テレビ解説	75.2	70.9	73.3	70.7	73.2	74.0	74.7	71.0	72.0	70.7	72.5	75.0	75.7	70.9	74.5	70.7	73.8	73.2
オピニオン・解説	76.5	76.4	77.0	74.3	75.1	76.3	77.5	75.7	77.3	74.8	74.4	76.2	75.4	77.0	76.7	74.0	75.9	76.4
地域	82.0	84.3	82.6	82.1	84.2	82.6	84.5	83.8	83.7	81.3	83.5	82.0	79.6	84.9	81.7	82.6	85.0	83.4
社会	89.4	89.1	89.5	88.6	89.9	89.2	90.0	89.1	91.0	89.1	90.5	89.4	88.8	89.2	88.2	88.1	89.4	89.0
テレビ	87.5	87.3	85.7	86.6	86.4	87.6	87.9	87.7	85.7	85.8	86.5	88.5	87.0	87.0	85.8	87.2	86.3	86.9
その他	76.3	79.4	79.5	73.5	77.2	72.0	77.3	78.2	81.0	73.1	75.4	74.8	75.3	80.9	77.8	73.7	78.9	69.4

「定期面別接触率調査」 調査紙と調査実施月について

		18年 7月	18年 8月	18年 9月	18年 10月	18年 11月	18年 12月	19年 7月	19年 8月	19年 9月	19年 10月	19年 11月	19年 12月	20年 7月	20年 8月	20年 9月	20年 10月	20年 11月	20年 12月
全紙 15紙	首都圏	朝日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		日本経済新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		毎日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		東京新聞（首都圏）		●	●			●	●			●	●		●		●		
	近畿圏	朝日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（近畿圏）	●			●		●				●			●		●		
		毎日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	その他	中日新聞（中京圏）		●	●			●	●	●		●		●				●	
		北海道新聞	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		神戸新聞		●															
		中国新聞			●														
		西日本新聞			●	●		●				●			●				

本データ使用時の注意点

本データをご使用の場合は、下記「データ出典」を必ず明記いただきますよう、お願いいたします。

データ出典：

J-MONITOR調査 定期面別調査 【調査実施機関】ビデオリサーチ 【調査日】2018年7月～2020年12月

J-MONITOR オフィシャルサイト

<https://www.j-monitor.net/data-plate/>

※2月10日より、オフィシャルサイトに掲出されています。

問い合わせ

J-MONITOR連絡協議会 2020年度 運営管理幹事

産経新聞社メディア営業局 企画プロデュース部兼業務推進部 橋本

問い合わせメールアドレス： press@it.videor.co.jp